4 参考資料

策定の歩み

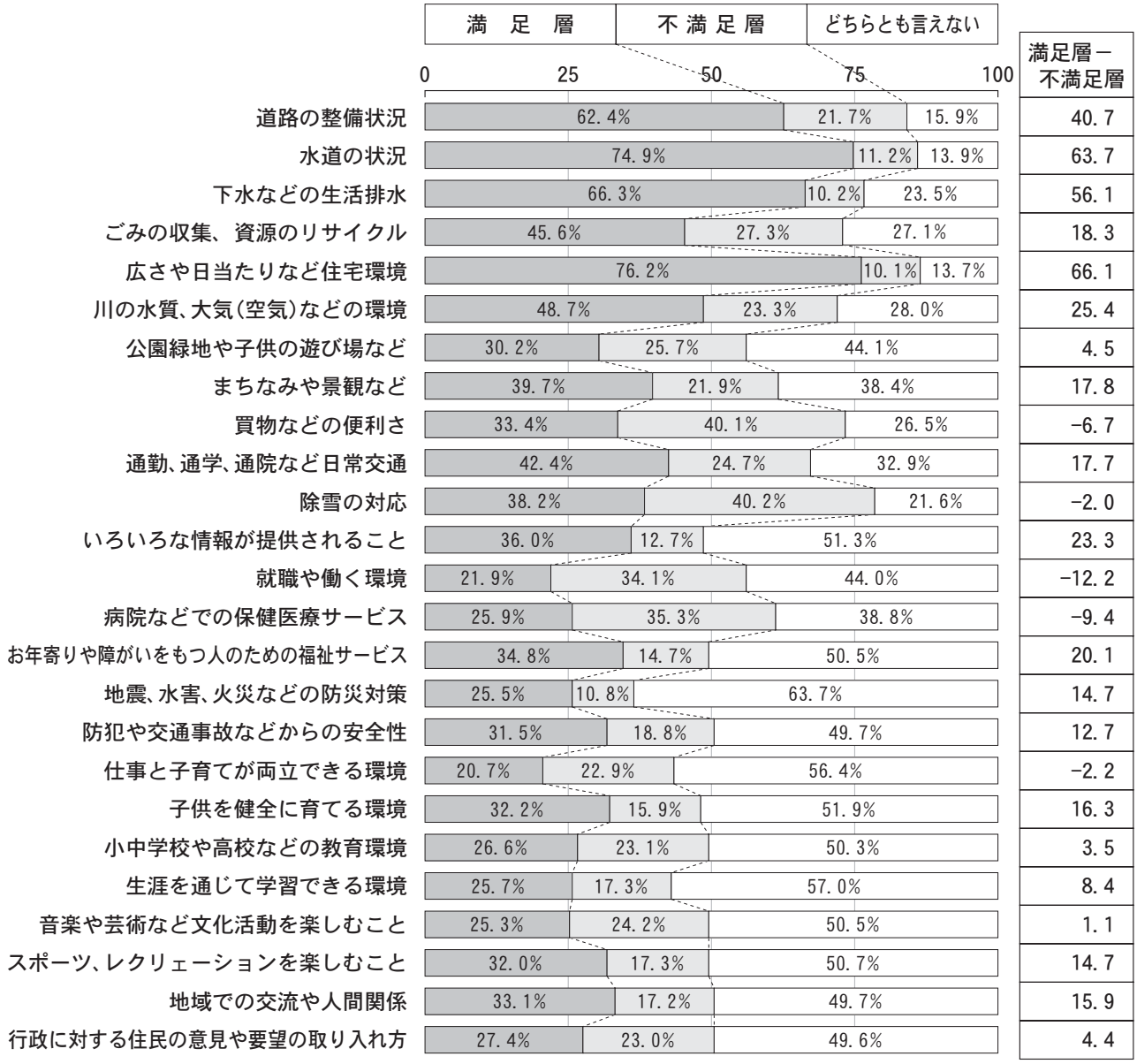
特集

第5期
まちづくり総合計画に向けての町民アンケート調査結果

５月に町民2,000人を対象にまちづくりについてのアンケート調査（有効回収数904人、回収率45.2％）を行いました。

この調査は、今年度作成する「第５期まちづくり総合計画」に町民の声を生かそうと行われたもので、ご協力いただいた回答には、これからのまちづくりに対する貴重なご意見なども寄せられました。ここに、集計結果をお知らせします。

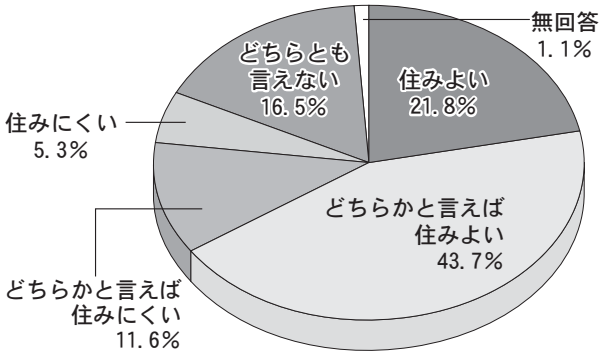
【問１】生活環境の満足度



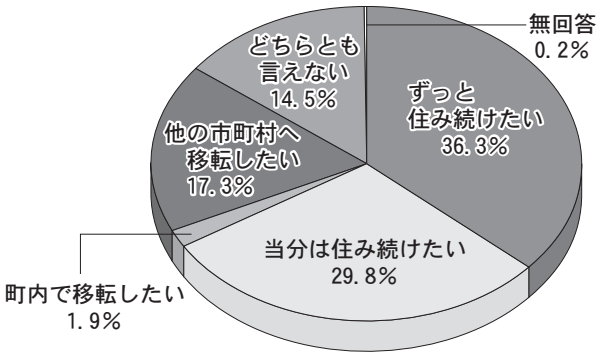
◇生活環境の満足度（問１）

25項目の設問のうち満足層が不満足層を上回るプラスの評価項目は「広さや日当たりなど住宅環境」＋66.1、「水道の状況」＋63.7、「下水などの生活排水」＋56.1、「道路の整備状況」＋40.7、「川の水質、大気などの環境」＋25.4など20項目となっています。一方、満足層が不満層を下回るマイナスの評価項目は、「就職や働く環境」－12.2、「病院などでの保健医療サービス」－9.4、「買物などの便利さ」－6.7、「仕事と子育てが両立できる環境」－2.2、「除雪の対応」－2.0の５項目となっています。

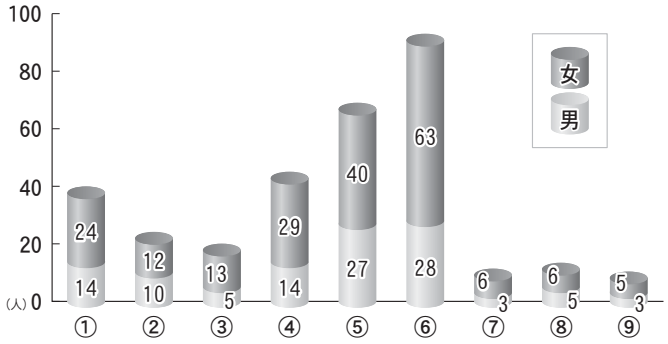
【問２】士幌町は住みよいまちですか。



【問３】将来も住み続けたいと思っていますか。



【問４】移転したいと思う主な理由は何ですか。



① 老後に不安があるから
② 生活環境が良くないから
③ 子供の教育上から
④ 仕事や通勤、通学などに交通が不便だから
⑤ 良い働き場所がないから
⑥ 医療、買い物などの日常生活が不便だから
⑦ 近所の人とうまくいかないから
⑧ レクリエーションやスポーツ､文化活動の場が少ないから
⑨ 気候条件が良くないから

◇町の住みよさ（問２）

町の住みよさとして、「住みよい」が21.8％、「どちらかといえば住みよい」が43.7％、「どちらかといえば住みにくい」が11.6％、「住みにくい」が5.3％、「どちらともいえない」が16.5％、「無回答」が1.1％となっています。

住みよいとする層（「住みよい」＋「どちらかといえば住みよい」）は65.5％、住みよくないとする層（「どちらかといえば住みにくい」＋「住みにくい」）は16.9％となっています。

◇居住継続意向（問３）

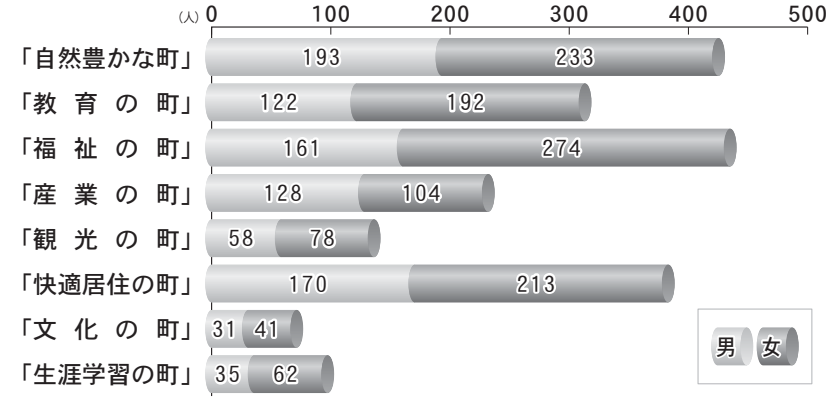
居住継続意向としては、「ずっと住みつづけたい」が36.3％、「当分は住みつづけたい」が29.8％、「町内で移転したい」が1.9％、「他の市町村へ移転したい」が17.3％、「どちらともいえない」が14.5％、「無回答」が0.2％となっています。

「ずっと住みつづけたい」、「当分は住みつづけたい」、「町内で移転したい」の町内居住継続意向のある層が68.0％となっており、「他の市町村へ移転したい」層の17.3％を大きく上回っています。

◇移転希望理由（問４）

移転希望の主な理由としては、⑥「医療・買い物などの日常生活が不便だから」52.6％、⑤「良い働き場所がないから」38.7％、④「仕事や通勤、通学など交通が不便だから」24.9％、①「老後に不安があるから」22.0％、②「生活環境が良くないから」12.7％、③「子供の教育上から」10.4％となっています。

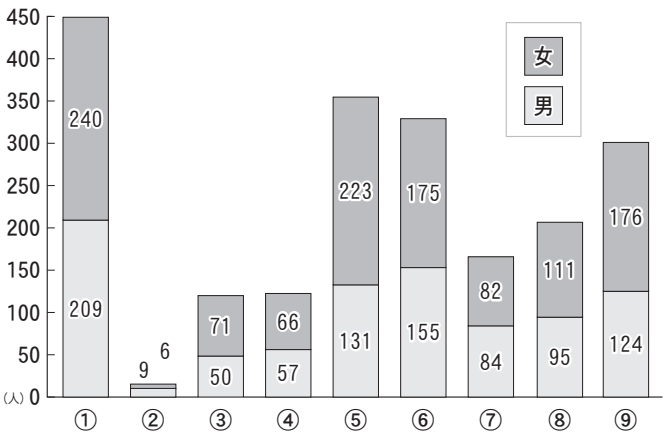
【問５】まちの将来像としてふさわしいと思うもの



◇町の将来像（問５）

「福祉の町」と「自然豊かな町」が５割弱で、「快適居住の町」が４割強、「教育の町」が４割弱という結果になっています。30歳代を除く各年代で「自然豊かな町」の将来像が高く、町民のほぼ共通将来像となっています。また、「快適居住の町」は10～40歳代､「教育の町」は30歳代、「福祉の町」は50～70歳以上で高く、各年齢層によって指向する将来像に違いがみられます。

【問６】「産業の振興」について。

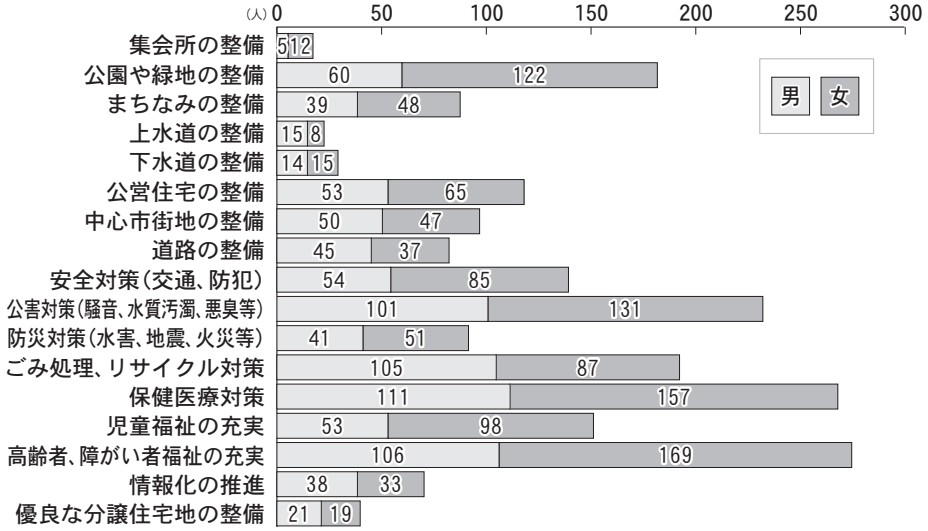


① 農業の振興
② 林業の振興
③ 観光関連施設の整備
④ 新たな観光開発の促進
⑤ 商店街の振興
⑥ 地場産業の育成
⑦ 企業の誘致
⑧ 産業後継者の育成
⑨ 特産物(品)の研究と生産拡大

◇産業の振興（問６）

①「農業の振興」が５割、⑤「商店街の振興」と⑥「地場産業の育成」が４割弱、⑨「特産物の研究と生産拡大」が３割強となっています。各年代で①「農業の振興」が多く、続いて⑤「商店街の振興」は10～30歳代と70歳以上で高く、⑥「地場産業の育成」が40～60歳代で高くなっています。

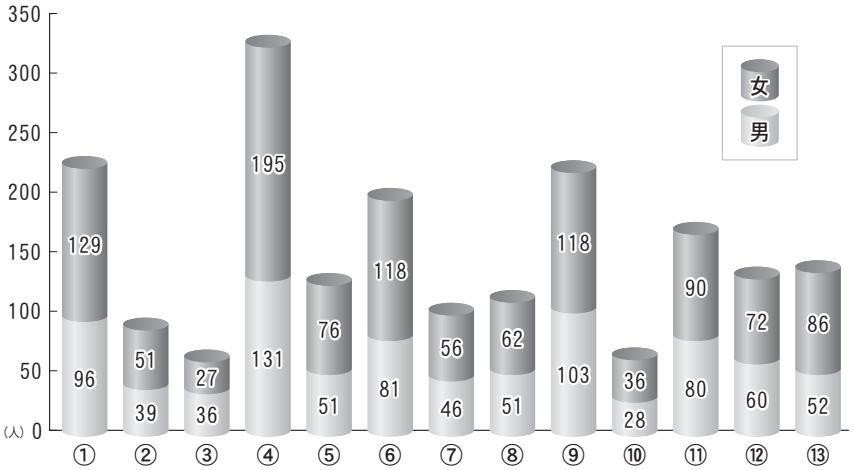
【問７】「生活環境」を向上させるためには。



◇生活環境の整備（問７）

「高齢者、障がい者福祉の充実」「保健医療対策」が３割、「公害対策」が２割強、「ごみ処理、リサイクル対策」「公園や緑地の整備」が２割となっています。特に「高齢者、障がい者福祉の充実」は、50歳代以上では６割弱と加齢とともに高くなっています。10歳代は「公害対策」、20歳代は「公営住宅の整備」、30歳代は「児童福祉の充実」、40歳代は「保健医療対策」が３割強と高くなっています。

【問８】「教育や文化」を向上させるために必要なものは？

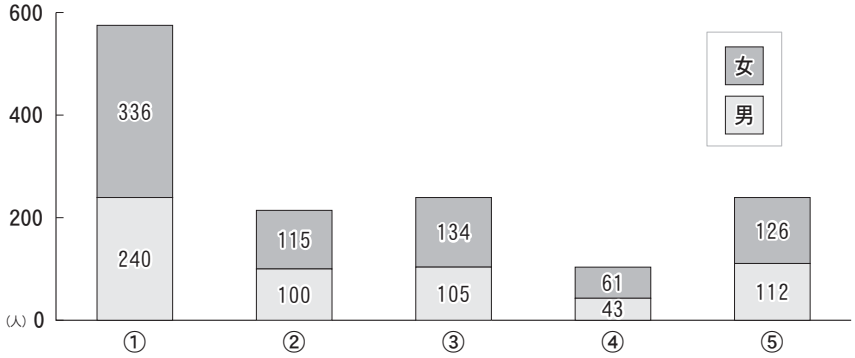


① 小中学校の整備、充実
② 士幌高校の整備、充実
③ 大学等教育機関の誘致
④ 青少年の健全育成
⑤ 保育所の整備、充実
⑥ 生涯学習の推進
⑦ コミュニティ施設の整備
⑧ 図書館の充実
⑨ スポーツ施設の整備、充実
⑩ 文化財や史跡等の保存
⑪ 全町的なイベントの開催
⑫ 国際交流の促進
⑬ 芸術、芸能等の機会の充実

◇教育・文化の振興（問８）

④「青少年の健全育成」が４割弱と最も高くなっていますが、特に中高年齢層（40歳以上）からの要望が高く、①「小中学校の整備、充実」が30歳代、⑨「スポーツ施設の整備、充実」が10～20歳代で高くなっています。近年の青少年犯罪の多発により、全国的に見ても④「青少年の健全育成」に対する要望が高くなっているようです。

【問９】環境問題の取り組みについて必要なものは？

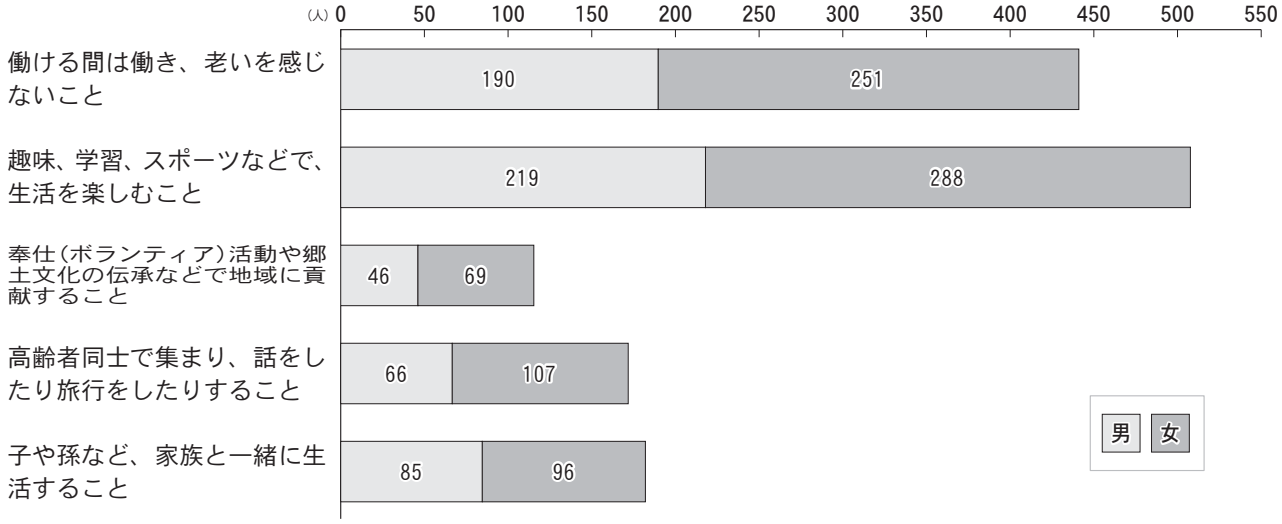


① 事業者や住民１人ひとりが、ごみを減らしたり資源を大切にするよう心がける
② 地域や団体で、環境美化やリサイクルなどの活動に取り組む
③ 学校や地域で、環境教育を進める
④ 町がごみの分別や資源のリサイクルをこれまで以上に徹底する
⑤ 町が積極的に公害規制や自然保護に取り組む

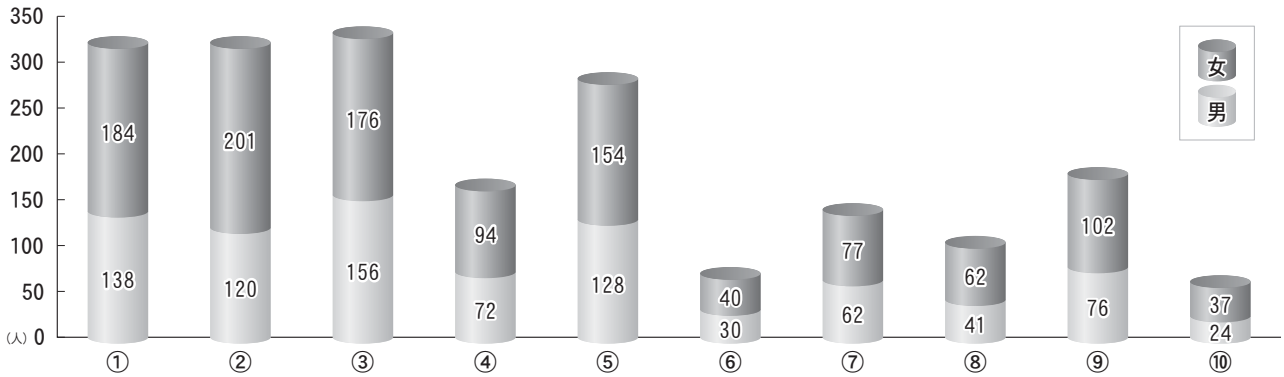
◇環境問題の取り組み（問９）

①「事業者や住民１人ひとりが、ごみを減らしたり資源を大切にするよう心がける」が６割強と最も高く、③「学校や地域で環境教育を進める」⑤「町が積極的に公害規制や自然保護に取り組む」が３割弱となっています。各年代の違いは少なく、①「事業者や住民１人ひとりが、ごみを減らしたり資源を大切にする」は各年代とも６割以上になっています。

【問10】老後を考えたとき、どのようなことが大切か？

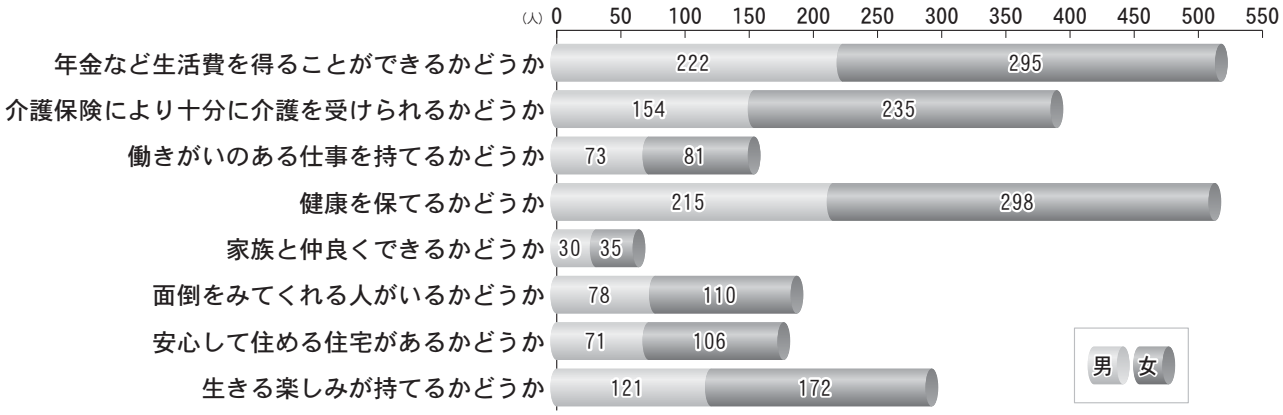


【問11】充実した老後を送るために は？



① 特別養護老人ホームなどの福祉施設の充実
② 寝たきり、１人暮らしの高齢者に対する在宅福祉の充実
③ 高齢者の保健、医療の充実
④ 高齢者向けのスポーツ、レクリエーションの場の充実
⑤ 高齢者の経験や技術を活かせる、生産活動や雇用の場の整備
⑥ 柏樹大学・大学院（高齢者学級）など生涯学習機会の充実
⑦ 幼児や青少年などとのふれあいの機会の充実
⑧ 町民の敬老精神やボランティア意識の向上
⑨ 高齢者相互による助け合い活動や奉仕活動の推進
⑩ 老人クラブなど高齢者の組織活動の育成

【問12】老後の暮らしに不安を感じることがありますか。



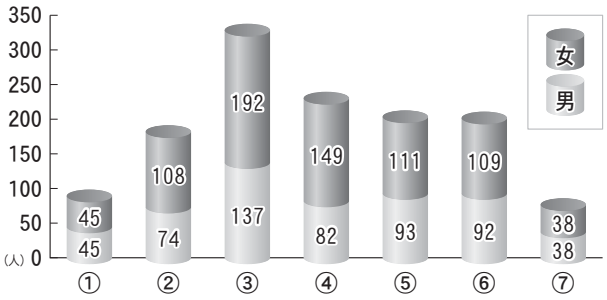
◇老後の暮らし方と高齢者福祉対策（問10～12）

問10　老後の過ごし方は「趣味、学習、スポーツで生活を楽しむ」が５割強、「働ける間は働き老いを感じない」が５割弱と希望が高く、「趣味、学習、スポーツで生活を楽しむ」は10～40歳代、「働ける間は働き老いを感じない」は50歳代以上で６割以上となっています。

問11　高齢者福祉対策としては、「高齢者の保健、医療の充実」「福祉施設の充実」「在宅福祉の充実」が４割弱と要望が高くなっています。

問12　老後の不安は「年金など生活費を得ることができるかどうか」「健康を保てるかどうか」が６割弱、「介護保険により十分に介護を受けられるかどうか」が４割強と、健康と経済的不安が高くなっています。

【問13】「生涯にわたって学ぶ」生涯学習活動を拡大していくためには？

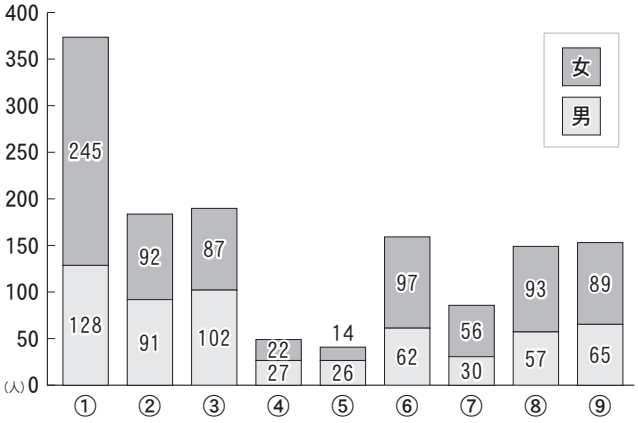


① 学校施設などの施設開放の促進
② 利用時間など施設利用の利便性の向上
③ 年代や職業に合った生涯学習メニューや情報の提供
④ 選択の幅の広い多様な教室、学級、講座の開設
⑤ 学習を指導する指導者の育成・確保
⑥ 生涯学習への関心を高める催し・イベントの実施
⑦ 自主的なグループづくりとリーダーの養成

◇生涯学習推進対策（問13）

③「年代や職業に合った生涯学習メニューや情報の提供」が４割弱と要望が高く、各年代を通じて３割以上の要望があり、50歳代以上では５割を超えています。また、20歳代では④「選択の幅の広い多様な教室、学級、講座の開設」や⑥「生涯学習への関心を高める催し、イベントの実施」の要望が高くなっています。

【問14】どのような情報の提供を町に望みますか。

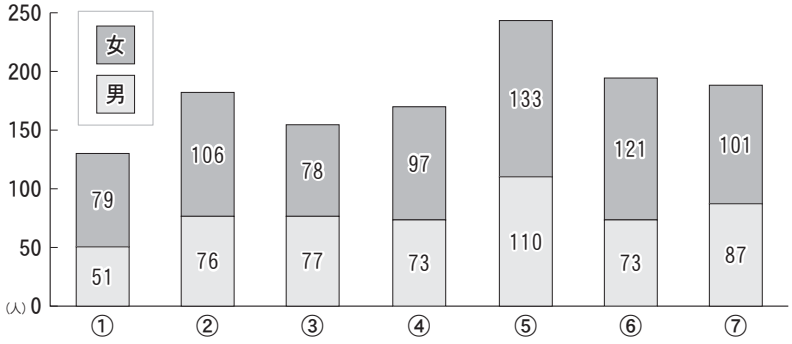


① 健康、医療情報
② 文化、社会教育、スポーツ情報
③ 行政関連情報
④ 議会関連情報
⑤ 気象情報
⑥ 防災情報
⑦ 教育関連情報
⑧ 地域の行事、イベント情報
⑨ ごみ処理、リサイクル関連情報

◇情報の提供（問14）

①「健康、医療情報」が４割強と要望が高く、10～30歳代では②「文化、社会教育、スポーツ情報」が３割と高くなっています。また、40歳代以上では③「行政関連情報」が３割と高くなっています。

【問15】士幌町の国際化をどう進めればよいですか？

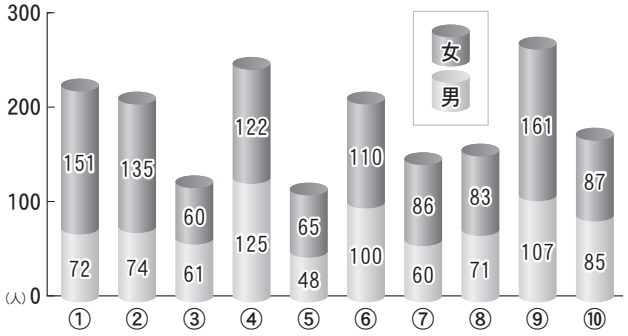


① 新たな交流都市の発掘
② 児童生徒の海外研修事業の拡充
③ 一般町民の海外研修事業の拡充
④ 国際的な催し、イベントの開催
⑤ 文化、スポーツの交流
⑥ 外国語講座などの充実
⑦ 国際交流協会など受入体制の整備

◇国際化の振興（問15）

⑤「文化、スポーツの交流」が３割弱と比較的高くなっていますが、回答は分散傾向にあります。10～40歳代では⑤「文化、スポーツの交流」が３割以上、50歳代では⑦「国際交流協会などの受入体制の整備」、60～70歳以上では②「児童生徒の海外研修事業の拡充」が３割以上と要望が高くなっています。

【問16】まちづくりを進めるうえで、どのような活動に参加したいですか。

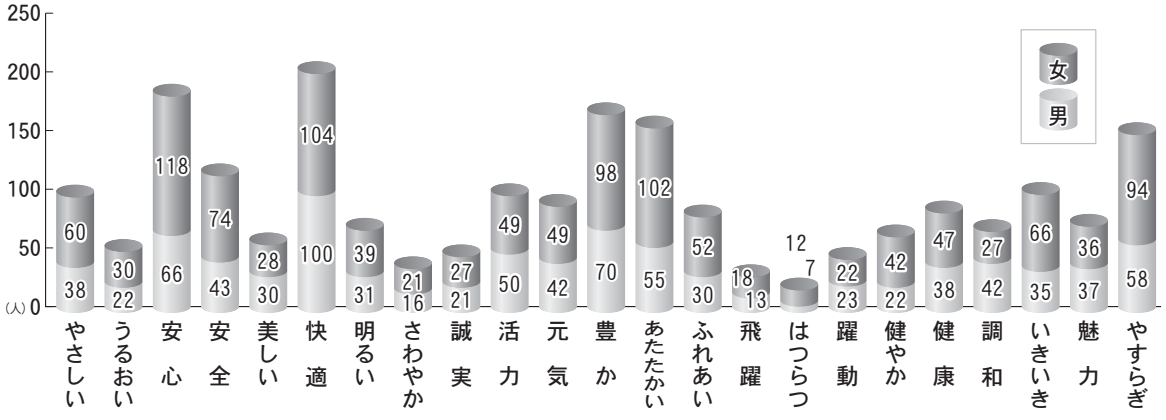


① 美しい町をつくるための花いっぱい運動や清掃活動
② お年寄りや恵まれない人のためのボランティア活動
③ 郷土の歴史や文化を学び、大切な遺産として継承する活動
④ かけがえのない自然を守り育てるための自然保護活動
⑤ 子ども会やＰＴＡ活動などの青少年健全育成活動
⑥ スポーツ活動や保健活動などの健康づくり運動
⑦ イベント、文化祭、運動会など町や地区の行事への積極的参加
⑧ 安全な町をめざすための交通安全や防犯、防災活動
⑨ あいさつ運動や親切運動など明るいまちづくり活動
⑩ 新しい特産品、みやげ品の研究開発活動

◇住民参加の取り組み（問16）

⑨「明るいまちづくり運動」④「自然保護活動」が３割弱と参加希望が高くなっています。10～20歳代では⑩「特産品、みやげ品の研究開発活動」⑥「健康づくり運動」、30歳代では⑨「明るいまちづくり活動」⑥「健康づくり運動」、40歳代では④「自然保護活動」⑥「健康づくり活動」、50歳代以降では⑨「明るいまちづくり運動」①「花いっぱい運動や清掃活動」の参加希望が高くなっています。

【問17】「将来の士幌町」のイメージを言葉で表すと。



その他
のどか
孤立
融和
慈愛
メッカ
自立？
ゆっくり
悠然
夢
有言実行
叡智
安全
老後安心
いやし
のんびり

◇将来のまちのイメージを表す言葉（問17）

「快適」「安心」が２割強、「豊か」「あたたかい」「やすらぎ」が２割弱で比較的高く、年代別では各年代で「快適」が高くなっています。10～50歳代で「豊か」、60～70歳以上では「安心」も高くなっています。

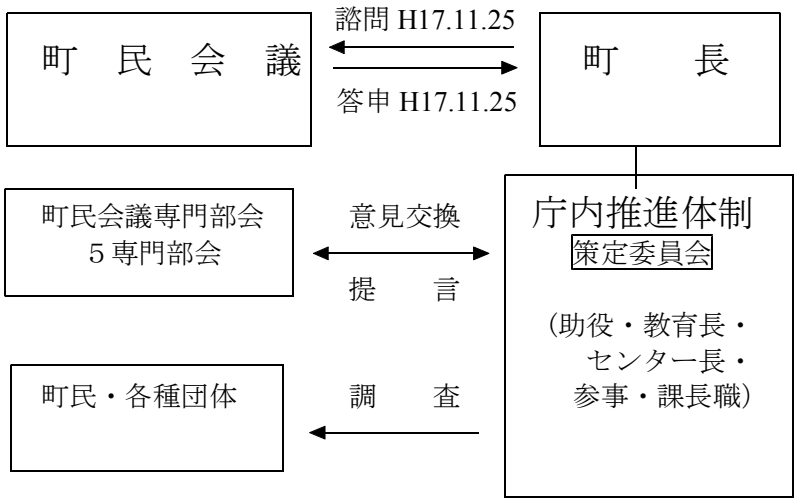
その他の意見

分　野	分野項目	代　表　的　な　意　見	件数
教　育	義務教育	もっと子供たちの成長や教育に必要な事に力を入れて欲しいです。	20件
教　育	幼児教育	安心して子育ての出来る環境や、学べる環境の充実。	10件
教　育	スポーツ	スポーツ施設の充実（テニスコートなど）。	8件
教　育	地域間交流	児童・学生と高齢者との関わりを持つ機会・場所をもっと増やして欲しい。	8件
教　育	地域文化	文化活動のレベルが低い。士幌だけで無理ならば近隣町合同で企画しては？	8件
経　済	商　業	市街商店の商品の充実。若者が購入したい物を販売する商店が今は無いので、改善を願いたい。人口増加にも繋がるのでは？	27件
経　済	農　業	町の基盤の農業が安定しているのは心強いが、今後、一層の安定が図れる様な施策が必要。	14件
経　済	観　光	易しい農業体験ツアー。	6件
経　済	雇　用	若者が安心して働ける場所を作って欲しい。	5件
経　済	消費生活	ポテトチップスがもう少し安価になってくれると買い易い。	5件
住民福祉	医　療	病院の対応が悪い。人が少ないのに時間が掛かり過ぎる。早急に業務・診察の見直しをすべき。	20件
住民福祉	児童福祉	子どもに向けての福祉対策が不完全のような気がする。	20件
住民福祉	地域福祉	福祉に関しては充実している。今後もより一層サービスの質の向上、徹底。	7件
住民福祉	高齢者福　祉	高齢者の対策は充実していると思う。	3件
住民福祉	保　健	介護も利用だけではなく予防的なものにも力を入れるべき。	3件
住民福祉	障がい者福　祉	障がい者や障がい児に対する理解や福祉施設サービスの充実を考えて欲しい。	1件
住民福祉	低所得者福　祉	若くして結婚したためお金がない。２人の子供を育てるのが難しい。おやつも服も買ってあげられない。老人の事ばかりではなく小さな子どもの居る家庭を助けて欲しい。国保、高すぎ‼　このままだと借金ばかり増えてこの先食べていけるか不安だ。	1件
住民福祉	母　子	母子家庭や就学援助をもっと良く見て欲しい。	1件
生活環境	ご　み	ごみのリサイクルでもっと分かりやすく簡単なものにして欲しい。	24件

その他の意見

分　野	分野項目	代　表　的　な　意　見	件数
生活環境	公　園	エコロジーパークみたいな公園を作ると町外からの人も沢山来るので良いと思う。イベントだけじゃなくても人が集まる所を作ると良いと思います。	17件
生活環境	住　宅	公営住宅の管理を徹底して欲しい。屋根の塗り替え等。	16件
生活環境	道　路	除雪の仕方を考えて欲しい。昨年は毎回除雪後に固まった雪が残っていて除雪が大変だった。	16件
生活環境	情報通信	情報提供システムづくり。（各種情報）	9件
生活環境	環境美化	町の景観は人工的な味気ないものになっているので、花壇等も季節感の有る花などを植えては？	7件
生活環境	景　観	町に沢山あった朝鮮五葉の木が切られて沢山居たリスが全然居なくなり残念です。リスが走り回る町であって欲しいです。	6件
生活環境	公　害	澱粉工場の悪臭処理のしかた。	5件
生活環境	交通安全	通学路の安全を確保して欲しい（特老の西側歩道が幅が狭く危険。現在は違う所を歩かせている）。	4件
生活環境	防　犯	心に優しく「安全」で豊かな町をＰＲして定住促進を図る。	3件
生活環境	交　通	土日も町営バスを走らせて欲しい。	2件
生活環境	土地利用	中士幌の空き屋対策。（特に国道沿い）	2件
生活環境	河　川	川の周辺の環境整備。近代化するのでは無く川畔林など自然に帰す。そう言った取り組みが他町からの関心が集まると思います。	1件
生活環境	防　災	防災マップの普及が少ない。小学校と中学校に対応したマップは有った方が良いと思う。	1件
総　務	行政体制	立派な建物だけではなく、中身の充実を。	25件
総　務	町民と行政の協調	町業務の民間委託化を進めるべき、農場関係、道路、水道など。	22件
総　務	広報広聴	町の行事等がきちんと町民に伝わっていない。またイベントのＰＲの仕方を考える。	18件
総　務	財政運営	施設利用料を一部利用者が負担ではなく利用者全員で負担すべき。	10件
総　務	コミニュティ	町民一人一人の行動力が大切と思う。	7件
総　務	生涯学習	農業人口が多いせいか趣味等の活動が夜に偏っている。	5件
総　務	広域行政	自立は決して楽ではないと思います。十勝を一つか音更川流域での合併を考えても良いのでは。	4件

策定組織



町民会議専門部会委員名簿

	分野項目	町民会議委員名	臨時委員名	策定委員
総務	町民と行政の協働、生涯学習、コミュニティ、男女共同参画、広報広聴、行政体制、財政運営、広域行政	浪内一洋、大西廉子 三澤　治、増田秀則 牧野　繁、竹迫克司	庄司光恵 宮部正彦	総務課長 企画課長 出納室長 議会事務局長
住民福祉	保健、医療、地域福祉、高齢者福祉、児童福祉、障がい者福祉、母子・父子福祉、低所得者福祉、社会保障	中村　貢、出村一介 白木美恵子、菱沼　豊 富田　実、石川俊博 鈴木久子	吉田　勝 伊藤正子	保健医療福祉 ｾﾝﾀｰ長 保健福祉課長 保育課長 国保病院事務長 特養ﾎｰﾑ施設長
経済	農業、林業、工業、商業、観光、 雇用・労働・消費生活	髙橋正道、金森史公 有澤忠男、朝井宏嗣 鎌田尚吾、鈴木博之 出村成子	紺野光男 三上宮子	農政課長 商工緑地課長 農委事務局長
生活環境	土地利用、市街地、住宅、宅地、道路、公園、公共交通、交通安全、消防、防災、防犯、河川、情報通信、水道・下水道、環境衛生・ごみ・リサイクル、公害、自然環境保全、景観・緑化・環境美化	木村卓司、横山和敏 谷本　榮、河太利夫 浅野澄江、橋原　清	鈴木晃一 今田鉄郎 河江　力	町民課長 建設課長 消防署長
教育	幼児教育、義務教育、高等学校教育、社会教育、地域文化、スポーツ、地域間交流、国際化	小松繁雄、山川巖毅 長屋博之、滝　千冬 奥秋博巳、東村達夫	宇佐見豊文 藤田信夫 古川幸郎	教育委員会参事 管理課長 社会教育課長 高校事務長

士幌町
第５期町づくり総合計画策定経過

平成１６年度策定経過

2月10日　第4期町づくり総合計画
（後期）達成度調査依頼
2月18日　第5期町づくり総合計画
「現状と課題」作成依頼
2月22日　士幌町第5期町づくり総合計画
策定方針案説明（町民会議）
3月10日　士幌町第5期町づくり総合計画
策定方針案説明（町議会議員協議会）

平成１７年度策定経過

4月4日～12日　町づくり懇談会（13地区）
4月19日　町民会議幹事会
(アンケート調査要領及び調査項目検討)
4月21日　町民会議
(アンケート調査要綱及び調査項目決定、専門部会の設置)
4月27日　住民アンケート調査開始
4月28日　士幌町の「現状と課題」全戸配布
5月 9日　町民会議臨時委員選出依頼
5月17日　まちづくり団体シート配布
5月20日　住民アンケート回収締切日、集計
6月 2日　第1回策定委員会
6月22日　第1回総務部会
6月23日　第1回教育部会、第1回経済部会
6月24日　第1回住民福祉部会、第1回生活環境部会
6月30日　ＪＡ士幌町との懇談会
7月 4日　計画策定に向けた職員研修会
(講師　北海学園大学教授　神原　勝)
7月 5日　士幌町商工会との懇談会
7月11日　第2回総務部会
7月12日　第2回住民福祉部会
7月13日　第2回生活環境部会
7月14日　第2回教育部会
7月19日　第2回経済部会
7月27日　第3回教育部会
8月 1日　第2回策定委員会、
住民アンケート結果広報掲載
8月 2日　第3回総務部会、第3回住民福祉部会
8月 3日　第3回生活環境部会
8月 4日　第3回経済部会
8月24日　第4回総務部会
8月25日　第4回生活環境部会
8月26日　第4回教育部会
8月31日　第4回住民福祉部会
9月 1日　第4回経済部会
9月27日　町民会議(素案協議)
10月 3日　第3回策定委員会(素案協議)
10月 6日　議員協議会(素案説明)
10月19日　各課部局ヒアリング
10月24日　各課部局ヒアリング
10月25日　議員協議会(意見集約)、
各課部局ヒアリング
10月26日　各課部局ヒアリング
10月27日　町民会議幹事会
11月17日　町民会議幹事会
11月19日～22日　町づくり懇談会(10会場)
11月25日　町民会議(諮問、答申)
12月 2日　第4回策定委員会(計画案確認)
12月 9日　第4回定例町議会上程
12月13日　第1回士幌町第5期町づくり総合計画
策定検討特別委員会
1月11日　第2回士幌町第5期町づくり総合計画
策定検討特別委員会
1月16日　第3回士幌町第5期町づくり総合計画
策定検討特別委員会
1月24日　第4回士幌町第5期町づくり総合計画
策定検討特別委員会
1月30日　第1回臨時議会
(士幌町第5期町づくり総合計画可決)

士 企 発
平成17年11月25日

士幌町町民会議
議長　佐　藤　庄一郎　様

士幌町長　小　林　康　雄

士幌町第５期まちづくり総合計画案について(諮問)

士幌町町民会議条例第２条第１項の規定に基づき、士幌町第５期まちづくり総合計画(基本構想・基本計画)案について、貴町民会議の意見を求めます。

士幌町第５期まちづくり総合計画案について(答申)

平成17年11月25日付け士企発をもって本会議に諮問のありました士幌町第５期まちづくり 総合計画案について審議した結果、適切なものであるとの結論を得ましたので、以下の意見 を付してここに答申します。

記

士幌町第５期まちづくり総合計画の推進にあたっての意見

１．第5期まちづくり総合計画は、「協働でつくる活き生きしほろ」を目指していますが、その実現に向けては常に町民の理解と協力を求め、住民と行政が一体となって、その積極的な推進に努めること。
２．今後の地方財政は、大変厳しい環境になることが予想され、事業の展開は“選択と集中”を図りながら効果的・効率的な推進に努めること。
３．重点プロジェクトについては、長期的かつ複合的な町づくりの方向として設定されたものであり、町民の参加を求めながら重点的に事業を展開されたい。
４．夢のある町づくりを推進するため、将来に向けた事業の可能性、展開の方策などの検討調査する事業群を設定し、住民とともにその実現を目指すよう努めること。

～提案する事業群～
・中士幌市街“夢街道”　～空き店舗を多様に活用して
・“農園付き別荘”　～都市住民の農村体験の推進
・“癒しの回廊づくり”　～音楽や芸術の楽しめる散歩道
・農村エコパワーセンター構想　～バイオガスを地域エネルギーとしての活用
・女性の起業活動　～地域素材を活かした食文化の創造、豊かな農村生活
・地域支えあいシステム　～老人の安心・安全
・子供の食農体験　～士幌高原ヌプカの里などを活用して
などを当面の事業群として提案します。

議案第１２号

士幌町第５期町づくり総合計画について

地方自治法第２条第４項の規定により、士幌町第５期町づくり総合計画を別案のとおり制定したいので議会の議決を求める。

平成１７年１２月　９日　提出

士幌町長　小　林　康　雄

※平成１８年１月 11・16・24 日 士幌町第 5 期町づくり総合計画策定検討特別委員会で審査

平成１８年１月３０日

士幌町議会議長　鈴　木　洋　一　様

士幌町第５期町づくり総合計画策定検討特別委員会

委　員　長　　大　西　米　明

士幌町第５期町づくり総合計画策定検討特別委員会審査報告書

議案第１２号　士幌町第５期町づくり総合計画について

委員会は、上記議案を審議した結果、次のとおり決定したから議会規則第７７条の規定により報告します。

記

議案第１２号　原案のとおり可決すべきものと決定。

付帯決議

１．厳しい財政状況に鑑み、町民が夢と希望の持てる効率的な町づくりを進めること。
２．福祉を優先し、誰もが安心して暮らせる町づくりを進めること。
３．基幹産業である農業や商工業などを軸に活力ある町づくりを進めること。

※平成１８年１月３０日　第１回士幌町臨時議会において原案可決

町　民　憲　章

澄みわたった空、　秀麗なヌプカの山なみ、　緑の牧場
豊かな自然に恵まれた、　わたしたちのまち、　士幌
風雪百年、　たくましい先人の開拓魂が、
きずきあげた　わたしたちのまち士幌、
わたしたちは
美しい自然と先人の偉業をうけつぎ　しあわせと
愛の心に満ちた　士幌町の輝く未来を開くために
この憲章を定めます。

1　先人の開拓魂に学び　たくましく前進する町をつくりましょう
1　たがいに助けあい　心をあわせて愛にみち町をつくりましょう
1　健康で生産にはげみ　豊かな町をつくりましょう
1　教養を高め　文化の創造につとめ　うるおいのある町をつくりましょう
1　美しい自然を愛し　きまりを守り　住みよい町をつくりましょう

士幌のイメージキャラクター
『大地くん』

士幌町

まちの花：スズラン

まちの鳥：カッコウ

まちの木：カシワ

〒０８０－１２００
北海道河東郡士幌町字士幌２２５番地
TEL：（０１５６４）５－２２１１　FAX：（０１５６４）５－４３０４